

Latent Dynamics

—潜在世界でどのような変化が起こっているか？—

山西健司(東京大学情報理工学系研究科)

大澤幸生(東京大学工学系研究科)

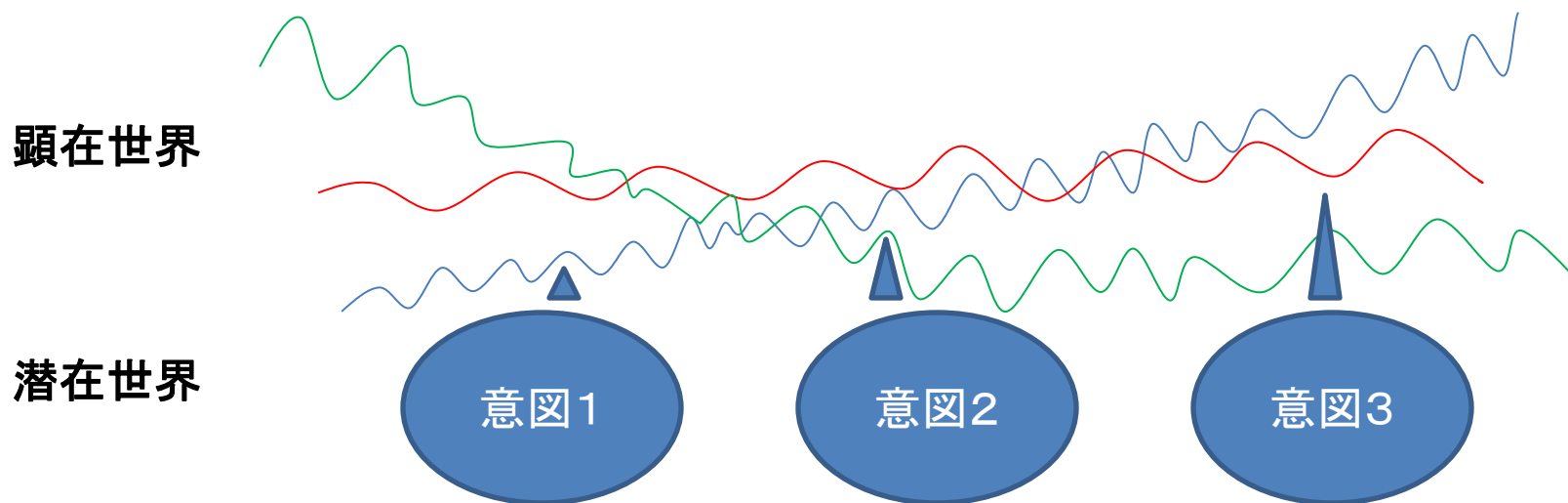
井手剛(IBM東京基礎研究所)

2010年6月16日

潜在情報はなぜ重要か？

● 潜在情報とは

..... 意図、概念、クラスター、内部状態.....
など表層的には見えないが、背後にある
「メタ」で「本質的」で「支配的な」「深い」情報を
表現するために様々な科学の側面で
扱われてきた。

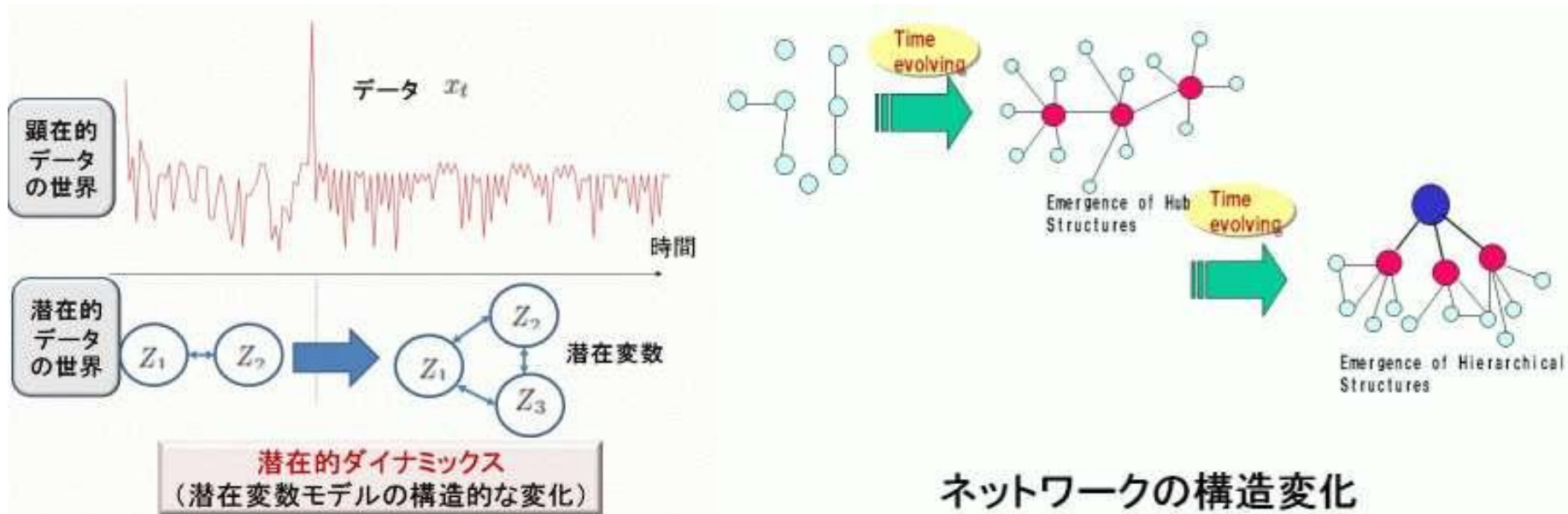


潜在世界が動いているということ

● 潜在世界の変化 (Latent Dynamics)

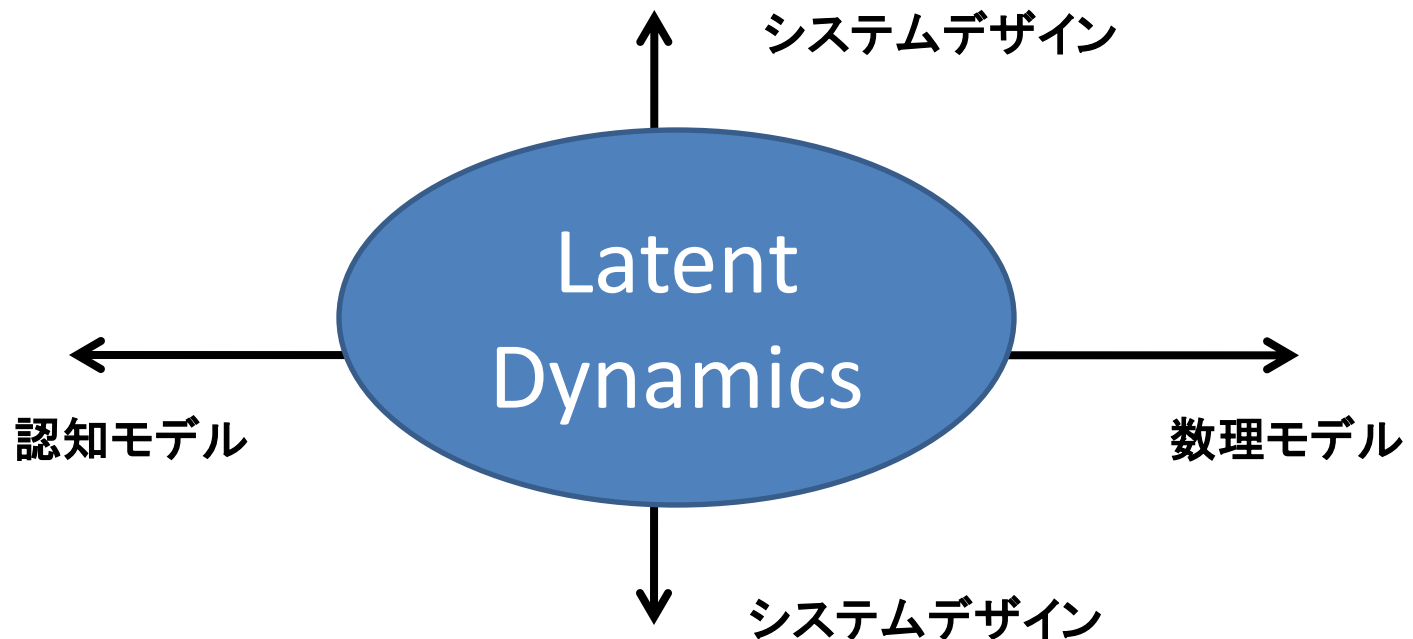
⇒ 新規性 (Novelty) 検出、
重大イベントの予兆発見、
情報のカタストロフィ などなど

..... 価値ある情報の新たな定義 へ



Latent Dynamics研究会の試み

- LDを**数理モデル**(⇒数学的記述)と
認知モデル(⇒人間の立場からの記述)
の両視点から捉える
- LDを**解析的側面**(⇒なぜ起こるのか?)と
システムデザインの側面(⇒いかに利用するか?)
の両側面から捉える



第一回LDワークショップの話題

数理モデル

山西健司

(潜在的構造変化検出)

石井信

(階層的ベイズモデル)

矢入健久

(非線形次元削減)

認知モデル

大澤幸生

(都合学)

宮野廣

(トラブル経験の
情報活用)

ネットワーク・揺らぎ

前野義晴

(揺らぎと偏り)

井手剛

(潜在的グラフ
異常検知)

テキスト・言語

岩田具治

(潜在的トピックモデル)

Xu Sun

(Latent Conditional
Model)

懇談会

18:00-

上海家郷菜 玻璃家

講演者以外で参加ご希望の方は受付まで
費用:5000円